

# 2020～21 年度 広報IT委員会の奉仕事業

## 広報モニュメント(修復)プロジェクト

広報IT委員会委員長 河崎高麗男

広報IT委員会の奉仕事業“広報モニュメント(修復)プロジェクト”完成お披露目・引き渡し式が 10 月 25 日 10:00 より、常磐公園の広報モニュメント現地で、あいにくの雨模様の中、除幕お披露目を行い、千鳥ヶ池淵の東屋でセレモニーが行われた。



広報IT委員会の目的は、一般の人々にロータリーの情報を提供し、クラブ奉仕プロジェクトと奉仕活動を広報する計画を立てこの計目標を実施することにあります。

今年度計画されていた社会奉仕プロジェクトが新型コロナウイルスにより中止となり、急遽、広報IT委員会の奉仕事業として国際ロータリー奉仕の重点分野の基本方針に沿う“水と衛生・経済

と地域社会の発展”広報モニュメント(修復)プロジェクトを実施する事に致しました。

旭川モーニング RC は永年“水と衛生”のプロジェクトを手掛けて来た中で特に市民の憩いの場である千鳥ヶ池の水浄化では小学生作文コンクールや、濁りや悪臭の改善で旭川市に浄化活動として、木炭の活用・二枚貝の放流飼育、凝固剤の散布、水流での浄化ヘドロの除去等のプロジェクトを提案、“守るも汚すも私たち 水は私たちの宝物 千鳥ヶ池をきれいにしよう”と

創立 15 周年を記念して全市民に呼び掛ける広報モニュメントを設置し旭川市に寄贈したものである。

今では、悪臭も少なくなり透明度も少し良くなり市民の憩いの場となっているがその広報モニュメントも十数年も過ぎると劣化が進み色あせに輝が入り見窄らしくなっ

て来ているので、此处できれいに修復“とどけよう 綺麗な地球を 未来まで 千鳥ヶ池の清き水辺”をと、リニューアルし 蘇ったモニュメントを旭川市に提供させ頂き、意識を喚起して千鳥ヶ池を市民の憩いの場として市民と共に環境、水資源の啓蒙を広げていく広報モニュメント作成して、市民へのロータリークラブの活動を紹介しながら千鳥ヶ池を大切にしようとする市民へ喚起の広報モニュメントを復活させました。



セレモニーでは河崎広報IT委員会委員長の司会でプロジェクトとの趣旨説明で開会され、木村会長、坂本幹事、来賓の RI 2500 第三分区竹内ガバナー補佐、旭川市を代表して旭川市土木部次長 田島 章博 様にて除幕お披露目式が行われた。





木村会長は挨拶で「水資源保護活動、千鳥ヶ池浄化・広報修復プロジェクト」にご参加頂き感謝のこたば、モーニングクラブの創立 15 周年に広報モニュメントを寄贈させていただき 13 年が経とうとしております。そして今回モニュメントを修復させていただき、もう一度旭川市民の大切なシンボルの一つである常盤公園そして千鳥ヶ池の浄化活動に市民の皆様にも呼び掛けることが出来ればと思っております。

今後益々市民の憩いの場として愛されるようモーニングロータリークラブとしても旭川市と共に活動を続けて参ります。私個人として昔母と遊んだ思い出の場所、彼女との照れながらのボートデートをした特別な場所があります。そのような思い出のある市民は多いのではないのでしょうか。次の更に次の世代にもきれいなまま想いを物語に紡ぐことができればと思っております。みんなできれいにしていきましょう！今後と今後の決意を述べられた。

来賓のRI2500 第三分区竹内ガバナー補佐からは、旭川モーニングロータリークラブの千鳥ヶ池浄化広報



モニュメントのリニューアル事業の完了、お引渡しの場に同席させていただき誠にありがとうございます

旭川市民の憩いの場の一つである、常盤公園そしてその象徴である千鳥ヶ池に、川モーニングロータリークラブの浄化広報モニュメントを設置され、そして今般のリニューアルは、従来から様々な水にかかわる奉仕活動、社会奉仕を実践し継続

している証であり、同じ、国際ロータリー第 2500 地区、第 3 分区のロータリークラブの仲間として素晴らしい奉仕活動だなあと感じているところでもあります。本年度は、新型コロナウイルスの蔓延の状況の中、各ロータリークラブ奉仕活動も停滞を余儀なくされているところでもありますので、この時期の活動は本当に意義深い活動だと思います。もう少しで雪の季節を迎えますが、これから、たくさんの方にモニュメントを見ていただくことでここ千鳥ヶ池の美化や身近な環境、水資源についての啓蒙の一助になることを願ってやみません。と挨拶を頂いた。

木村会長より旭川市に旭川市土木部次長 田島章博様にモニュメントの引き渡し証を渡す。



旭川市を代表して旭川市土木部田島章博次長様に挨拶を頂く



旭川市土木部田島章博次長は、モニュメントの引き渡し証を頂き環境水と衛生に取り組む特はこの千鳥ヶ池の浄化運動の市民ぐるみの活動に感謝を述べられ、千鳥ヶ池の歴史と池の浄化活動で水利権の問題で撮り水確保のなどで管理の難しい中でこの素晴らしい都心の千鳥ヶ池を市民の憩いの場所として更なる努力を進めて行きたく、今後ともに環境と水と衛生、旭川モーニングロータリークラブの活動に感謝を述べられ、

旭川市長よりの感謝状が木村会長に贈られた。



セレモニー終了後、公園のゴミ拾いを予定していたが生憎の悪天候に中止となったが我々に奉仕事業に協賛して集まって頂いた龍馬の会青年部がセレモニーを盛り上げて頂き他団体との交流が出来た事は、今後のロータリーに大きな意義ある活動が出来ると大いに期待しているところです。このセレモニーの様子は、“北海道新聞”をはじめ地域月刊誌“北海道経済・月間グラフ旭川”に掲載された。

### 千鳥ヶ池を守るパネル 新調

旭川の奉仕団体がお披露目



お披露目された千鳥ヶ池の保護を訴えるパネル

旭川モーニングロータリークラブ（木村和哉会長）は、市中部の常磐公園内にある千鳥ヶ池の水質保全

を訴えるパネルを改修し、公園を管理する市に寄贈した。池のほとりに設置されたパネルは、面積が約30㎡×横約30㎡、片面で守るもよすもわたしたち！なごろ池の保全を訴え、もう片方の面では同会の活動を紹介している。最初のパネルは2008年に同クラブの創立15周年を記念し設置されたが、日光などで風化していた。新型コロナウイルスの感染拡大で奉仕活動が思うようにできない中、約30万円をかけて改修することにした。25日に行われた寄贈の式典には同クラブの会員や市職

員、旭川龍馬の会の会員ら約30人が出席。シートが外されパネルが露現すると、出席者から拍手が上がった。同クラブの木村会長は「パネルを通じ、次の世代にもきれいな水をつなげる意識が高まれば」と話した。（土西寛治）

## News.Scramble



新しくなったモニュメントを披露

### 千鳥ヶ池浄化を呼び掛けるモニュメントが一新

旭川モーニングロータリークラブ（RC）が10月25日、常磐公園千鳥ヶ池の傍らで広報モニュメントのお披露目と旭川市への引き渡しセレモニーを開いた。旭川モーニングRCは1993年に創立。創立15周年記念として池のほとりで旭川市にベンチを寄贈したのを皮切りに、長年「水と衛生」に関する活動を展開。水質悪化が目立つ千鳥ヶ池につい

て、竹炭を活用した浄化、水抜きとヘドロ除去などを提案したこともある。創立15周年の2008年には千鳥ヶ池について「守るも汚すも私たち 千鳥ヶ池をきれいにしよう」と公園を訪れる市民に広く呼び掛ける広報モニュメントを設置した。それから10年以上の歳月が経過。文字がひび割れるなど老朽化が進んだことからリニューアルした。当日には旭川モーニングRCの木村和哉会長ほか、社会奉仕団体「旭川龍馬の会」の若手組織「北の海援隊」もメンバーらが駆け付けた。当初予定していた清掃活動はあいにくの雨のため中止となったが、旭川市の田島章博士木部次長を招いて行ったお披露目式を見守った。目録の贈呈に続いて、旭川市からは感謝状が贈られた。「千鳥ヶ池は幼いころ母と遊んだ場所。公園の大切なシンボルである池の浄化を市民に呼び掛けたい」（木村会長）

北海道経済 2020.12月号

### 地域貢献

#### 旭川モーニングロータリークラブが千鳥ヶ池の広報モニュメントを修復



引渡式には会員のほか旭川龍馬の会青年部「北の海援隊」も参加した

旭川モーニングロータリークラブ（木村和哉会長）は10月25日、常磐公園・千鳥ヶ池の浄化を呼び掛ける広報モニュメントを修復し、旭川市への引渡しを行なった。

これは同クラブが2008年に創立15周年を記念し「水と衛生プロジェクト」として「守るも汚すも私たち 水は私たちの宝物」と記して建立し旭川市へ寄贈したもの。風雪により劣化したので、「とどけよう 綺麗な地球を未来まで千鳥ヶ池の清き水辺を」と標語も新たに修復しリニューアルした。旭川市から木村会長へ感謝状が贈られた。